

第10回佐波川かわまちづくり協議会議事録

日時 令和2年2月17日(月)14:00～15:30

場所 市役所1号館3階南北会議室

《出席委員》

【関係自治会代表者】

松崎地域自治会連合会会長	土井章 (会長)
右田地域自治会連合会会長	河村均 (副会長)
佐波地域自治会連合会会長	中林堅造
玉祖地域自治会連合会会長	内田元夫

【学校関係代表者】

松崎地区青少年育成連絡協議会会長	河杉憲二
右田地域青少年育成連絡協議会会長	久芳輝雄
防府市立右田中学校校長	前原隆志

【関係団体代表者】

ホタルの夕べ実行委員会	中司達美
佐波川に学ぶ会	吉松忠直
水の自遊人しんすいせんたいアカザ隊	今井くに子

【一般公募委員】

浅井典子
田村栄良
田中里美
藤井康太郎

《欠席委員》

【関係自治会代表者】

華城地域自治会連合会会長	原田義久
--------------	------

【学校関係代表者】

佐波地域青少年育成連絡協議会会長	雪村和史
華城地区青少年育成連絡協議会会長	和田雅夫

【関係団体代表者】

防府土地改良区	屬宣義
佐波川漁業協同組合	清水玉夫

市長	池田豊
土木都市建設部長	佐甲裕史
土木都市建設部次長	友景康浩
参与	友廣和幸
事務局	河川港湾課 藤本課長、武村課長補佐、松崎技術補佐、西崎係長
オブザーバー	国土交通省、 政策推進課、おもてなし観光課、文化財課

傍聴人 2名

協議会概要

事務局 ……次第 3 説明事項1) の「今年度の事業報告について」説明……

会長 はい、ただいま事務局の方から今年度の事業の報告、進捗状況および実施状況についての説明があった。また11月に開催した“遊々かわフェスタ”の盛況ぶりも改めて披露されたわけだが、イベントも含めてただいまの説明について、皆様からのご質問なり、今後に向けての提言等があれば、ご意見を述べて欲しいと思う。

——説明事項1 “今年度の事業報告”についての質問・提言は特になし) ——

事務局 ……次第 3 説明事項2) の「今後のスケジュールについて」説明……

会長 只今、今後におけるハードそしてソフトにおける説明を国土交通省そして市の方から説明を受けた。今後の方針について皆様から提言をいただけたらと思う。どうということでも結構なので忌憚のないご意見を賜りたい。

会長 私の方から“遊々かわフェスタ”の開催時期を秋から春に変更することは、ちょうどシバザクラも咲いている適当な時期と考える。

イベントでは佐波川の河川敷を利用するになると思われるが、佐波川漁協との協議・調整は進めているのか。

事務局 はい。佐波川漁協とのこのイベントに関する調整はおこなっている。

会長 この時期は、上流の小野地区のイベントでこいのぼりを水中で泳がせているため、こちらのイベントは、昨年のような佐波川にこいのぼりを（水中で）泳がせることはないということでしょうか。また、舟橋（仮設橋の架設）はあるのか？

事務局 はい、こちらのイベントではご説明のとおり、ワイヤーロープで空中にこいのぼりを泳がせることになる。また、舟橋の方は5月の水の多い時期になるため実施しない予定である。

A委員 よろしくお願ひします。何点かあるのだが、

まず、一点目は、県道178号線沿いの佐波川大橋の南側の箇所左岸にあるトイレ周辺の草が生い茂って、ごみの投棄が気になっている。佐波川一体と含めて環境整備に努めてほしい。

次に、二点目は、華城側の管理用通路のツツジが、私の背丈よりも高く伸びてしまっている。大体500メートル位がそういう状況になっている。素人では剪定ができない状況なので、一度に実施すると花が咲かなくなるため、5年位

に分けて、国なり市もしくは地元と協働して綺麗にすることが必要なのではないかと考える。法面などにツツジが植生しているので、市民だけの作業では無理がある。

次に“遊々かわフェスタ”の説明があったが、佐波川には上流から下流まで年間を通じていろいろな団体や地域で、さまざまな行事をおこなっているのも、一体的に周知していくことが必要なのではないかと。ホームページなど SNS を活用して周知していくことも大事ではないかと。

最後に、春におこなうイベント名は“佐波川こいわたし”というネーミングで決定したのか。

事務局

はい、お答えします。

まず、一点目の県道 187 号線沿いのトイレについて、市が管理しているトイレであり、早急に担当部署と調整して対応する。

それと、二点目のつつじについて、500m程度の区間のつつじが、背丈ほど繁茂しており地元でもどうしようもないというところで、この件につきましても国土交通省、市および地元で協議を進めて方針を検討したい。

三点目の年間を通じて佐波川でいろいろなイベントが開催されていて、それらの団体と連携が取れていないことについて、一つ佐波川についての年間カレンダー的なものを作成したいと考えている。

最後に“こいわたし”というネーミングについては、こいわたし実行委員長と良い形になるように進めていきたいと考える。

会長

特にPRについては、紙面のみに頼らず、インターネットなどを活用するなど予算をかけない工夫も必要である。

B委員

今まで3回ほど“遊々かわフェスタ”を（実行委員長として）やってきたが、新しくいろんなイベントを合わせておこなうことは良いことだと思う。その中で、せっかく行うのであれば、佐波川に触れ合うような親水性のある企画が足りない印象を受ける。やはり佐波川の中に舟橋をかけたり、魚のつかみどりをおこなったり、水に触れ合いながら子供たちが喜ぶような企画を盛り込んでいただきたい。

会長

ご提言をいただいたと思っております。

C委員

よろしく申し上げます。私の件は、管轄が国土交通省になると思うが、折角、本流を伐採して綺麗になっているので、支線の清水川（佐波川合流部）も葦などがかなり繁茂してきているので伐採して綺麗にして欲しい。

事務局

清水川の葦・ヨシの件についてお答えします。国土交通省から来年度の非出水期以降に実施する予定であるとのこと。

C委員

はい、ありがとうございます。

D委員

5月の連休中は、上流の小野地区から下流までこいのぼりをよく見かける。

玉祖地区の二六台（玉祖小学校の下、60m程度の山）に子供会や近くの自治会が協力して、4月中旬から5月中旬にこいのぼりを揚げている。佐波川の土手を歩いていると自然と視線がこいのぼりの方に向いて、自然を満喫する、ふるさとを満喫することが出来ている。ちょうどこの時期にふさわしいと思われる。ぜひ、小野のこいのぼり、今回実施するこいわたしと合わせて、宣伝して欲しい。

それと大崎橋とその横の歩道橋にこいわたしのこいのぼりが余ったりしたらかけていただけるとよいと思う。

A委員

二六台に地元子供会と育成協議会を中心にこいのぼりを20匹くらい揚げているが、雨が降ったり風が吹いたりするととても苦労しながら揚げている。そのため60万円程度かけて、ポールを設置した。桜も植えたりしているのでアピールして欲しい。

地区としてもこの二六台をどういう風に活用していくかというのも一つのテーマになっている。

眺望の方は佐波川の最下流から上流の本橋の方まで見えるというとてもよい場所であるため、こいのぼりを見るに兼ねて車で上がってくる人も多い。今後は桜の木を植えて地域の花見スポットにしたいと考えており、本橋地区に合わせてぜひPRしていただきたい。

会長

まず、大崎橋もしくはその側道橋にこいのぼりをぶら下げてはどうかというご提言があったが、考えられる余地はあるか。

A委員

以前、子供会で大崎橋にロープを張ってはどうかと検討したことがあったが、距離の長いロープが必要になりポールが必要であると要望が出た経緯がある。

歩道橋の方は、強度などさまざまな検討は必要だが、実施できる余地はある。国土交通省など関係機関と協議して進めていこうと考える。

会長

二六台のPRについては、先ほどの佐波川のイベントPRと合わせて、ぜひインターネットなどを活用して実施していただければありがたい。

E委員

いろいろと（佐波川こいわたしイベントに対して）ご意見いただいてありがとうございます。昨年からのこの“こいわたし”を始めようとしたきっかけは、小野の地域の方から“こいながし”を紹介され、インスタ映えスポットとして盛り上がりを見せているなど自慢され、自分の住む右田地域でも何かできないかと思いついた。幸い、周辺に協力していただく方も多くまた小野地区からこいのぼりを貸してもらえるなどの協力を得られた。当初は、川の中を泳がせようと計画したが、本橋周辺は水量が少なく見栄えが良くないだろうということになった。

そこで、家業のクレーンを使用してワイヤーで空を泳がせたらどうかといういことになり実施した。スライドの写真は去年の状況だが、私としては不本意な結果になったと考えている。今年はリベンジしてまた頑張っていきたいと考えている。名称については、昔はこの場所に舟を連ねて舟橋というのがあった。

去年は平成から令和への新しい始まりという思いも込めて“こいわたし”とネーミングした。

昨年の私たちはこいのぼりを揚げる方に一生懸命であったが、今年は、イベントの方も“遊々かわフェスタ”と合体して盛り上げていただけたらと考えている。地元の皆様方にご協力いただきながら進めていきたいと考えている。よろしく申し上げます。

会長

ありがとうございます。今年は、5月5日子どもの日に“遊々かわフェスタ”をおこなうとのことで、まさしく鯉のぼりが空より高く泳ぐ姿は風景的にも大変良いと思う。盛大に実施していただけることに大変ありがたいなと思っている。

F委員

毎年参加させていただいているこのイベントで佐波川の生息している川魚をパネル等でしっかり説明していただいているのは承知しているが、佐波川の下流域、中流域、上流域でどのあたりにどんな魚が生息しているか私も含めよくわかっていないのではないかと考える。それぞれの地域で生息している魚は異なっていると思うが、最近の若い子供たちは小さい魚は全てメダカだと言っているという声もある。この地域特有の呼称などもあると思われるので、若い世代に継承するという意味からも調べてPRしていただきたいと考える。

一つ例を挙げれば、ひげのあるコイ科の砂地に生息する魚で正式名はカマツカであるが、我々はトウセンボンと呼んでいる。若い人はわからないかもしれないが、塩焼きにしたら美味しく昔の人たちは食用としていた。

会長

遊々かわフェスタで佐波川に生息している魚を展示してどういう特性があって、どのようなエリアに住んでいるか紹介があれば親子共々佐波川に親しめると思う。ぜひ佐波川漁協にも話をしてもらい、協力を要請してみてもどうかと考える。

C委員

佐波川の魚の種類という話だが、私どもが活動している事務所に、さまざまなそれらのパネルがある。展示スペースとして解放するなど協力は可能である。

事務局

わかりました。ご意見を参考にイベントの内容を検討したい。

会長

その他、ご意見はないか。

それでは、今回も様々な角度からのご意見を賜り、これも皆様が佐波川を良い方向、良い方向にという強い思いが現れたのであろうと思っている。今回の意見を踏まえ、事務局・市当局においてはより市民に親しまれる川になるようにして尽力していただきたいと考える。また、国土交通省のご担当者に対しても大変ご迷惑をお掛けするが、我々の母なる佐波川として、今後とも良い方向へ良い方向へ市民に親しまれる川になるようにこれからもお力添えを頂けるとありがたいと考えている。

事務局

会長、ご進行をありがとうございました。以上をもちまして、第10回佐波

川かわまちづくり協議会を終わらせていただきます。本日はどうもありがとうございました。